

主 題

高校家庭クラブ読谷社協に切手

～ 国内外活用に期待 ～

高校家庭クラブ
読谷社協に切手

国内外活用に期待

【読谷】県高校家庭クラブは9日、村社会福祉協議会（池原武康会長）に切手を贈呈した。切手は県社協を通じて非営利団体に贈呈後、換金されて発展途上国の葉やインフラ整備などに活用される。

切手は県内の高校家庭クラブの生徒たちが、ことし4月から校内や家庭で集めたもの。同クラブによると詳細な枚数はわからないが、未使用と使用済みの切手を合わせると千枚を超えると

いう。同クラブの砂辺梨湖会長（16）は「読谷高2年」は「切手収集のポスターを貼るなどの工夫をしたので、想像以上に集まった。県の福祉や海外の子どもたちに使ってほしい」と期待。

池原会長は「若い力が社会に目を向けて頑張ってくれたことが素晴らしい。これからも思いやりと奉仕の心を忘れず、楽しく活動を続けてほしい」と感謝した。



村社会福祉協議会の池原武康会長（左）に切手を渡す、県高校家庭クラブの砂辺梨湖会長（中央）と仲村麻鈴さん（座喜味・同協議会）